

## 1. 公共交通について(市民バス・ロープウェイ等)

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
1	市民バスの経路表示について	<p>ひより台からイオンへの直行便を利用した際、帰りのバスが遅れて到着し次発と同着になったため、どちらに乗ればよいか分からず運転手に尋ねましたが、十分な説明がなく不親切な対応を受けました。さらに、バス前面の表示が薄く見えづらく、循環線という名称も行き先が分かりにくいため、利用者にとって分かりやすい表示や路線名への改善が必要だと感じます。免許返納者など新規利用者が増えることを考えると、外から見ても理解しやすい案内を整備してほしいです。</p>	運転手の対応について、大変申し訳ございませんでした。委託先にそういうことがないよう、今後も引き続き注意を求めるようにいたします。 来年4月からのバスの再編の際に、路線名を分かりやすく変更する予定です。また、スマートフォンで市民バスの現在地が分かるようにするバスロケーションシステムを10月から開始しております。既に1,300件ほどご利用いただき、好評をいただいているので、ぜひご活用いただければと思います。	市長
			来年4月からのバスの再編の際に、バスの目的地を分かりやすくするよう、路線名を主な経由地を含むものに変えるように準備を進めております。今後も、市民バスの充実に向けて、お気づきの点がございましたら何なりとお申し出をいただければと思います。	企画部長
2	バスロケーションシステム等の、スマートフォンを利用したサービスの研修会の開催について	バスロケーションシステムは、スマートフォンでバスの現在地を確認できるシステムということですが、使い方が分からず世代もいると思います。他にも、市からの連絡や申込で、QRコードを読み込む必要があるなど、スマートフォンを使用する手続きが多いです。可能であれば、講習会のような場を設けていただけるよう、検討いただきたいです。	現在DXが進化していて、様々なものが利用しやすくなっていますので、使用する市民の皆様のために公民館ごとに講習会を開催するなど、機会を設けるように検討させていただきます。	市長

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
3	イオンバスの市内北部方面への運行について	イオン富谷からは多方面にバスが出ていますが、とちの木止まりで、それより北の地域には運行がありません。以前は「西友があるから来ない」と説明されましたが、なくなっても改善されていません。他方面には複数便があるのに、北方面には全く来ないため、見直してほしいです。	イオンバスを北方面へ延長するよう市からも要望し、費用負担の協力も申し出ました。しかし、イオンバス自体の運営が厳しく、宮城交通への委託でも運転手不足などの課題があり、経路延長は物理的に難しい状況のことです。イオンバスは難しいですが、市民バスで最大限努力します。	市長
4	ロープウェイの乗降所の計画について	明石台地区に住んでいますが、朝の交通渋滞がかなりひどく、国道4号線に出るまで長い時間がかかります。こうした状況の中で、ロープウェイ構想について非常に関心を持っています。このロープウェイについては乗降所が作られると思いますが、具体的にどのような計画になっているのでしょうか。	都市型自走式ロープウェイは、EVを動力としたゴンドラが道路上の支柱間を走行し、カーブも自由に曲がれる新しい仕組みを備えています。仙台市に駅を設け、明石台・成田・大清水まで結ぶというのが基幹公共交通の計画路線です。乗降所にはパークアンドライド用の駐車場も確保したいと考えております。輸送能力は1時間あたり約3600人で需要を十分満たせる見込みです。	市長
5	ロープウェイの開発・運営会社について	ロープウェイ事業については期待して応援していますが、開発した会社がスタートアップで不安だという声もあります。国や補助の支援があることを伺っていましたので、そういった点について、市民が安心できるように説明をお願いしたいです。	スタートアップ企業に対して不安を持つ方もいらっしゃいますが、時代の変革に挑戦しているのは多くがスタートアップ企業です。Zipparを開発している企業のCEOは慶應大学工学部を卒業された学生起業家であり、現在は福島県でZipparの実証実験を進めています。すでに有名企業や投資家が出資しており、将来性への期待は高まっています。今後は、CEOを招いて富谷塾の定例会を公開し、直接話を聞ける機会を設ける予定です。現在日程を調整しており、決定次第改めてお知らせいたします。	市長

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
6	ロープウェイ整備による渋滞緩和の是非について	基幹公共交通としてのロープウェイ整備については、市から泉中央までの渋滞緩和を目的とするなら効果は薄いと考えています。渋滞の原因は泉中央方面に行く人の多さではなく車の多さであり、車利用者はロープウェイを使わないとめです。今後病院が明石台にできると、通院等で便利に感じる方もいると思いますが、渋滞緩和には寄与しないと考えています。	ロープウェイ整備は泉中央の渋滞解消を目的としており、駐車場を設けて車から乗り換えることで泉中央への交通量を減らす効果を期待しています。泉中央の渋滞は都市圏全体の課題であり、ロープウェイだけでなく、大衡仙台線の整備など複数の施策を組み合わせて取り組む必要があります。こうした公共交通の整備によって泉中央へ向かう車の台数を減らし、渋滞緩和に寄与できると考えています。	市長
7	ロープウェイの整備について	私が住んでいるひより台北部地区でロープウェイの話を聞くと、ロープウェイまで車で行き、乗り換えて泉中央へ行くのであれば、直接泉中央へ行くという意見の人気がほとんどでした。	そういった声があるのも事実だと思いますが、市の総合計画を策定する際に実施した市民アンケートでは、泉中央駅からの地下鉄延伸やそれに代わるものとの整備を望む声が73.3%と最も多く寄せられています。次いで「安心安全な暮らしの確保」が42%、「総合病院の誘致」が38.7%となっています。3回連続で7割超の市民が「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」を望んでおり、その声に応えることが私たちの責務でございますので、ご理解いただければと思います。	市長
8	総合病院へのアクセスの整備について	総合病院は2031年に開院予定であり、市民の期待も高まっています。ただ、仙台市からのアクセス、市内からのアクセスの両方に課題があり、当面交通網がない地域については特に、市民バスの増発やルートの見直しなど、きめ細かな対応が必要だと思います。開院に向けて、交通計画については早めに情報を発表していただき、市民が不安を抱かないようにしていただきたいと思います。	利用者が通院できるように交通を整備することは、大きな責任があると感じています。4月に行う病院の基本協定に向けて、市としての支援策の中に、泉中央駅からのシャトルバスの運行は約束しております。市内や黒川地域合わせてのバス運行について、検討する必要がありますので、ご意見をしっかり受けとめ、実現できるようにしたいと思います。	市長

## 2. 教育について(学校教育・施設、生涯学習に関するこ)

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
1	中学校でのネットリテラシー教育について	<p>中学校での有権者教育、とくにネットリテラシー教育を充実させてほしいです。 兵庫県知事選で若い世代がネット情報を鵜呑みにし、現実とずれた回答をしたことから、情報を見極める力の不足が課題だと感じています。 親世代はこうした教育を受けていないため、学校で体系的に学ぶ必要があると思います。</p> <p>富谷市の子どもたちが将来、公正に判断できる有権者として育つよう、市として取り組むべきだと思っています。 具体策として、社会科教員向けに専門家による研修を実施することを提案したいです。 宮城県知事選で複数のファクトチェック記事を執筆した河北新報の記者を講師として招いてはどうでしょうか。</p>	<p>次年度予算で学校の研修費を確保しており、ネットリテラシー教育の強化に向けて、専門講師による研修を実現できる見通しです。 学校現場では、複数情報源の比較やグループでの検討など、情報活用能力の育成を進めており、今回の提案を生かしながら、子どもたちのネットリテラシー向上にさらに取り組んでまいります。</p>	教育長
2	中学校での生成AIの研修について	<p>生成AIは誰でも簡単に使える便利なツールであり、学びの質を高める可能性があります。 一方で誤情報や課題への不正利用のリスクもあるため、情報リテラシー教育が重要です。 その一環として、中学校の研修に生成AIを取り入れることは、これから先の学びには必須ではないかと思います。</p>	<p>生成AIはこれからの中学校ではますます目的特化型AIから導入を進めています。 東向陽台中学校では「教科書AI」をテスト導入し、子どもたちが協働学習の中でAIを相棒のように活用しています。 段階的に汎用AIへ展開し、他校にも広げながら、正しくAIと付き合う力を育成していきたいと考えています。</p>	教育長
3	東向陽台中学校のグラウンド等整備について	<p>東向陽台中学校のテニスコートの防砂用ネットが設置されましたが、他の市内中学校にはフェンスも付いています。 同じ市内の中学校の運動施設ですので、学校の状況を見直し、できる限り早期に同様の整備をしてほしいです。</p>	<p>学校の施設がより使いやすくなるよう、なるべく均等に整備できるよう努力してまいります。</p>	教育長

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
4	市内小中学校体育館の冷房整備状況について	市内小・中学校の体育館の冷房整備状況について、進捗状況を教えてください。	今年の補正予算の中に、体育館の冷房整備に係る、基本的な設計について要求しており、順次冷房の導入を進める方向で動いています。取り急ぎ、次年度の夏は、スポットクーラーのようなものを各学校2台ずつ導入し、運動の折、休憩時に体を冷やすことができるように対応します。	教育長
5	東向陽台小学校グラウンドの排水機能について	東向陽台小学校グラウンドに児童クラブ棟が立地された後、グラウンドの水はけが悪くなったように見受けられます。排水機能に影響があったのではないかでしょうか。	校庭に児童クラブを建てるという想定がそもそもない中での案件だったかと思いますので、影響の有無については、現地を確認し、影響があると認められた際には、教育委員会と保健福祉部で連携しながら対応してまいります。	教育長
6	図書館等複合施設「ユートミヤ」の市民の会・「ユートミヤパートナーズ」への申込について	ユートミヤパートナーズの申込について、まだまだ会員を増やしたいと思っています。ぜひ、市職員、議員の皆さんにも個人的にご参加いただけたら嬉しいです。	ありがとうございます。これから多くの方にご参加いただければ幸いです。	市長
7	成田二期北工業用地への大学・研究機関等の誘致について	半導体工場について、世界的な需要の高まりを背景に注目されています。成田二期北工業用地もありますが、近年の工場は少人数で運営できる形態が多くため、人口増加には直結しにくいです。 一方で地域では高齢化が進み、住民の入れ替えが課題となっています。そのため、大学や研究機関などの教育機関を誘致することで若者の流入を安定的に確保し、人口維持につなげられるのではないかでしょうか。	大学等の教育機関・研究機関は、私もあったら絶対いいと思いますので、機会があれば、誘致も含めて努力していきたいと思います。	市長

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
8	公民館の移動研修の開催について	去年の公民館行事に「移動研修」というものがあり、今年も期待していましたが入っていませんでした。来年はぜひ開催いただければと思います。また、非常に競争率が高く、希望しても抽選に外れることもあります。そのことも含め、ぜひ年間計画を見直していただければと思います。	移動研修については、2年に1回の開催となっていたかと思います。来年は実施するかと思いますが、確認いたします。来年は、公民館が市民センターに名称を変更するということで体制が新しく変わります。それに向けて内容もさらに充実するようにプログラムの見直しを行っていますので、今日いただいたご意見を反映したいと思います。	市長
9	公民館研修の開始時刻について	各公民館の研修の開始時刻が10時になっているものが多く、市民バスを利用してその時間に間に合うように参加することが難しいです。車を運転しない人たちも参加できるような見直しをお願いいたします。	いただいたご意見はしっかりと来年度に反映させたいと思います。	市長

### 3. 福祉について(子育て、高齢者支援に関するこ)

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
1	富谷市におけるボランティアポイント制度の実施検討について	<p>仙台市が9月から「アクティブシニアボランティアポイント制度」を開始しました。この制度では、65歳以上の高齢者が、ボランティアや介護予防等の活動へ参加した際にポイントが付与され、専用アプリを活用して、市内の対象店舗等にて1ポイント1円で利用できる仕組みです。8年前の市政懇談会で同様の制度について提案させていただきました。こちらは、高齢者だけでなく、若者も参加できる仕組みを提案させていただきましたが、残念ながら進捗が見られない状況です。再度、提案させてください。</p>	<p>ご意見をいただいた8年前に全国組織の市民団体「ナルク」が立ち上がり、ボランティア活動でポイントを貯めて活用する仕組みがありました。取組が充実すれば行政としても連携したいと考えていましたが、その後仕組みが少し変わりました。今回、具体的な実施要項までいただきておりますので、参考にしながら今後検討してまいります。</p> <p>介護保険制度の生活支援事業については、社会福祉協議会のボランティアセンターと協議しながら検討を進めてきましたが、「ポイント付与」の仕組みが問題として残っているため、現在宮城県が運用している「みやポ」の内容も踏まえて、今後も検討を続けていきたいと考えております。</p> <p>また、活動対象年齢を18歳からとするご提案については、介護保険制度の中では、1号被保険者の65歳以上、あるいは2号被保険者も含めた40歳以上を対象としている事例が多いため、どこまで対象を広げるべきかについても、調査しながら検討してまいります。</p>	市長 保健福祉部長

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
2	児童クラブの利用時間の延長について	<p>保育園に比べて児童クラブの利用開始時間が遅く、共働き家庭にとって始業時間に間に合わないなどの負担が生じています。特に小学校へ進学すると、土曜日や長期休みの預け始めが約1時間遅くなるため、働き方を時短やパートに変更せざるを得ない家庭もあります。物価高の中で収入が減ることは子育て世帯にとって大きな不安です。</p> <p>さらに、台風や豪雨、熊の出没など登下校に不安を感じる状況もあり、送迎を希望する子どもも増えています。他自治体では朝7時から児童クラブを利用できる例もあり、親が子どもを見送ってから安心して仕事に向かえる環境が整っています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、富谷市でも児童クラブの利用時間を保育園と同じ時間に利用できるよう、利用時間の延長を検討してほしいです。</p>	<p>児童クラブについては多くの要望があり、市も課題として認識しています。私が就任してから市内小学校8校全ての敷地内に児童クラブを整備しましたが、共働き家庭が増えたことに伴い利用希望者が増加し、一時期待機児童が100名を超える状況となりました。一昨年から小学校の空き教室の活用や増設を行い、児童クラブの運営を委託している民間事業者の協力を得ながら、何とか利用希望者全員を受け入れられる体制が整ったところです。</p> <p>今回のご要望は、その次の段階の課題であり、市としても問題意識はありますが、まずはこれまでの事情をご理解いただければと思います。</p> <p>朝7時からの預かりを求める声は、以前からありました。しかし、運営を委託している事業者との調整が必要になります。本市ではまず、要望の多かった長期休業期間中の昼食提供に取り組んだところです。</p> <p>朝7時からの預かりについては今後も検討を続けますが、すぐの実現は難しい状況です。そのため、必要な方には、社会福祉協議会に委託しているファミリーサポートセンターの送迎や一時預かりの利用をご案内しています。</p>	市長 保健福祉部長

#### 4. その他(ゴミ収集、スーパー・マーケットの誘致、市の窓口対応、公表前の情報の扱い)

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
1	清掃センターの移転計画について	先日の議会定例会の際に、清掃センターの移転計画について聞きました。そのような計画があるのでしょうか？移転する理由を教えてください。	清掃センターの移転計画については、現在の立地が仙台市所有の土地であるため、既存のリサイクル仮置き場を撤収する必要が生じました。当初は同じ場所に新センターを建てると建て替え扱いとなり、国の補助金が受けられないとされていましたが、仙台市の了解をいただき、国の調査などを行った上で、同じ場所でも補助対象となることが確認されました。そのため、今年度に予定していた移転を1年延期し、来年度に国の補助金を活用して実施することとなりました。今回の議論は、移転の有無ではなく移転時期に関するものでした。	市長
2	ごみ収集スケジュールの見直しについて	居住地域では、燃えるごみは月・水・金に収集されていますが、水曜や金曜は量が少ない状況です。一方で、プラごみやペットボトルは火曜の収集が一度だけで、ごみステーションがあふれている状況です。市でごみの量を管理されているかと思いますので、排出量に応じた収集スケジュールの見直しを長期的にご検討いただければ幸いです。	プラごみの方が排出量が増えてきているところもあるかと思いますので、担当の方で検討をさせていただきたいと思います。	市長
3	ひより台へのスーパー・マーケット誘致について	ひより台へのスーパー・マーケット誘致の進捗について教えてください。	スーパー・マーケットの誘致については、色々な経営者の方に話をしておりますが、建物への不安が課題となっています。所有者の方にもスーパー・マーケットの必要性は理解いただいておりますが、現在の建物で営業されている方との調整がつかず、次の段階に進めない状況です。建て直しが実現すれば誘致は可能であると思いますが、もう少し時間をいただく必要がございます。	市長

No.	項目	質問要旨	回答要旨	回答者
4	市への問合せに回答がない件について	ペットのウンの処理について、燃えるゴミに該当するのかどうか、市に問合せのメールをしましたが、回答がありませんでした。寄せられた問合せは、しっかり確認していただければと思います。	大変申し訳ございませんでした。市民の皆様からのメールやお手紙はとても大事にしていて、全庁を挙げて、すぐ対応できるものはすぐ対応する、すぐ返事をするものはすぐ返事をすることを徹底しております。担当課に確認いたします。	市長
5	児童手当額改定に伴う手続きと通知内容について	4月の児童手当額改定に伴う手続きの際、書類を出張所に提出したところ、市役所で把握できており、提出依頼の連絡がありました。その後、額面の通知があったのですが、1回目の通知と2回目の通知に記載された金額が異なっていました。これは正しい仕事の仕方なのでしょうか。	本当に、心からお詫び申し上げます。しっかりと再発防止に取り組みます。	市長